

保険者異動データ等の検証におけるエラー発生例

2010.11.29現在

データ受入において、大量エラーの原因となるようなエラー事象例を以下に取りまとめております。

| 項番 | チェック区分 | エラー事例 | 対応例 |
|----|------------------------|--|---|
| 1 | 異動データフォーマットチェック(相関) | 世帯主区分のチェックエラー 擬制世帯主を設定した際、データ区分に1(喪失)を設定している場合 | データ区分に0(加入中)を設定する(別紙1参照) |
| 2 | 異動データフォーマットチェック(相関) | 個人番号の重複チェックエラー 個人番号管理の保険者において、個人番号が同一でデータ区分が1(喪失)のレコードと0(加入)のレコードが複数存在している | 個人番号が重複するデータが複数存在する場合、データ区分:1(喪失)を2(旧データ)に変更する(別紙1参照) |
| 3 | 個人番号対応表フォーマットチェック | 生年月日が不正なケース 例)9790101等 和暦+年の部分が、西暦下3桁となっているように見受けられる | 正しい生年月日の様式に変更する。 和暦(1桁)+和暦年(2桁)+月(2桁)+日(2桁) |
| 4 | 個人番号対応表フォーマットチェック | 保険者番号の桁数が不正 例)保険者番号が6桁、5桁で設定されている | 保険者番号を8桁にて設定する 例)00010017 |
| 5 | 個人番号対応表フォーマットチェック | 員番が未設定 | 員番を正しく設定する |
| 6 | 個人番号対応表フォーマットチェック | 員番の桁数不正 | 員番を2桁前ゼロ埋めで設定する 例)02 |
| 7 | 個人番号対応表フォーマットチェック | 項目数が多い 例)カナ氏名の直後にカンマが設定されている | カナ氏名の直後のカンマを取り除く |
| 8 | 個人番号対応表重複チェック | 同一保険者内で、証番号、個人番号、生年月日、性別が全く同一データが存在する | 証番号、個人番号、生年月日、性別で一意となるよう設定いただく |
| 9 | 異動データ精査(準備) | 異動データ精査前の取込処理において、個人番号が未設定の場合取込処理が異常終了する | 異動データ(個人)の個人番号(員番)を正しく設定する |
| 10 | 異動データ精査(準備) | 異動データ精査前の取込処理において、統計行政区コード、統計住所コードにおいて、空白が設定されていた場合取込処理が異常終了する | 異動データ(個人)の統計行政区コード、統計住所コードを未設定の場合には空白ではなく、Null値を設定する |
| 11 | 異動データ精査(準備) | 異動データ精査前の取込処理において、異動データの改行コードが、CRLFでない場合、取込処理が正常に完了しない 例)改行コードが、LFのみ設定されている | 異動データの改行コードについては、CRLFを設定する |
| 12 | 異動データとレセプト情報相関チェックについて | 員番管理の保険者において、員番が前ゼロ埋めの2桁となっていない場合、レセプト情報内に指定された被保険者情報が存在しないエラーとなる(北建) | 員番管理の保険者の場合、異動データ内の個人番号(員番)については前ゼロ埋めの2桁にて設定する 例)01 |
| 13 | 異動データ精査 | 異動データにおいて住所コードを利用している保険者で、住所コード異動データの送付がない場合、K00097のエラーとなる | 異動データにおいて住所コードを利用する場合、住所コード異動データを作成し、送付する |
| 14 | 異動データ精査 | 管理用住所は、名称での設定となっている(住所コード未使用)が、発送用住所でのみ住所コードが設定されているため、K00479等のエラーとなる | 異動データの住所情報は、管理用と発送用で、名称の設定なのか、住所コード設定なのかを統一する。 |
| 15 | 異動データ精査 | 行政区コードを利用しているのに、行政区コード異動データの送付がない場合、K00096のエラーとなる | 行政区コードを利用する場合は、行政区コード異動データを送付いただく(もしくは、行政区コードではなく、地区統計コードを直接異動データに設定する) |
| 16 | 異動データ精査 | 個人情報の限度額適用履歴において、項目が未設定の履歴が存在する場合、H00936等のエラーとなる エラー設定例) ～(前略)～,E2, ,E3,～(後略)～ | 個人情報の限度額適用履歴が不要な場合については、終了識別子を直後に設定する 設定例) ～(前略)～,E2, E3,～(後略)～ |
| 17 | 異動データ精査 | 個人情報の証管理履歴において、項目が未設定の履歴が存在する場合、H00960等のエラーとなる エラー設定例) ～(前略)～,E3, . . . ,E4,～(後略)～ | 個人情報の証管理履歴が不要な場合については、終了識別子を直後に設定する 設定例) ～(前略)～,E3, E4,～(後略)～ |
| 18 | 異動データ精査 | 個人情報の第三者履歴において、項目が未設定の履歴が存在する場合、K00F30等のエラーとなる エラー設定例) ～(前略)～,E4, . . . ,E5 | 個人情報の第三者履歴が不要な場合については、終了識別子を直後に設定する 設定例) ～(前略)～,E4, E5 |